

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①胆振地域子ども会育成連絡協議会リーダー交流会開催/親子 de くつろぎ森ガール
- ②「厚真のすてきな自然」を知ろう/10月神奈川県で開催の全国大会へ
- ③森のひろば 2020/文化の秋作品展示会/冒険の杜整備事業
- ④絵本の読み聞かせ講座/カブラ講座/定例教育委員会/新しい教育委員
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

胆振地域子ども会育成連絡協議会リーダー交流会開催

9月27日(日)、胆振地域子ども会育成連絡協議会が毎年実施しているリーダー交流会が厚真町子ども会育成連絡協議会の主管で開催されました。

今年はコロナ禍で開催が危ぶまれたものの室蘭市、登別市、苫小牧市、むかわ町、厚真町の小学4年生から中学2年生までの児童・生徒23人、引率等の役員34人、総勢57人が参加しました。感染症予防対策を徹底し、午前中は「NPO法人むーブ」の協力で総合福祉センター大集会室やつたえり公園で体を動かしながら、思考力やコミュニケーション能力をつちかうレクリエーションを行いました。午後からは厚幌ダム方面の震災後の復旧復興状況をバス見学し、その後「自分たちの町で、もし9月6日のような大きな地震があったら」と題した防災ワークショップを行いました。

特にバス見学では、吉野地区で黙とうを捧げ、9月6日当日の状況と避難についての説明を受けました。子どもたちはもちろんのこと、同行した大人も震災を振り返り、日頃の防災意識を高める大変有意義な研修となりました。



↑ つたえり公園での屋外レク



↑ 被災・救助の体験談を聞く子どもたち



← 防災ワークショップ

厚真町の豊かな自然の中で… 第2回親子 de くつろぎ森ガール!

親子 de くつろぎ森ガールは、厚真町の豊かな自然を生かした子育ての手法を楽しみながら学ぶという目的で、主に乳幼児をもつ子育て世代を対象に、平成28年度から教育委員会と子育て支援センターが共同で行っている事業です。

9月15日(火)には大沼野営場で「本気の泥遊び」を行い、町内在住の親子5組が参加しました。様々な種類の土や泥と水を混ぜて、ケーキを作ったり、泥団子を作ったりしました。最初は、汚れるのをためらっていた参加者でしたが、活動の終盤には、裸足になってトンネルや水路を作るなど、普段よりも大胆に泥遊びを

展開していました。活動の前後での唾液中に含まれるアミラーゼ値に基づくストレス値の計測結果では、活動後のストレス値が大幅に下がっているなど、自然の中での活動の効果を体感することもできました。ぜひ、皆さんもご参加ください。



問い合わせ
社会教育グループ ☎0145-27-2495

「厚真のすてきな自然」を知ろう！

—「ふるさと教育」厚真中央小学校4年生の取組—

厚真中央小学校では、ふるさと厚真について学ぶ「ふるさと教育」が本格化しています。4年生は、総合的な学習の時間を活用し「厚真のすてきな自然」をテーマに、9月24日（木）に浜厚真海浜公園でのビーチクリーン学習、10月5日（月）には、馬を活用した林業「馬搬」について学びました。

ビーチクリーン学習では、町内でサーフィンの普及活動に力を入れている丸山聡史さんを講師に招き、浜厚真海浜公園で「なぜ厚真町でサーフィンが有名なのか」について学んだり、ビーチでごみ拾いをして環境問題について考えたりしました。活動の最後には、実際にサーフボードに乗って水の上に立つ試みも行われ、子どもたちにとって初めての体験となりました。子どもたちからは「厚真町の海がこんなに気持ちの良い場所だと初めて知ったので家族

と遊びに来たいです」との感想が聞かれるなど、有意義な時間となりました。

林業の学習では、西埜馬搬の西埜さんが馬と共に来校し、馬と山に入り、切り出した木材を搬出する「馬搬」について、理解を深めました。実際に馬そりに乗ったり、自分たちでのこぎりを使って木を切ったり、普段はなかなかできない体験をすることができました。「あんなに大きくて重たい丸太を簡単に運べる馬のパワーはすごい」「いろいろな仕事があることを知った」など、子どもたちには新たな気づきが生まれていました。

今後も、地域の方々の力を存分に生かしながら、学校活動が展開されます。これからも、「地域全体で子どもたちを育てていく」そんなまちを目指していきます。



実際に海の中に入って楽しむ4年生



西埜さんの話を真剣に聞く様子

感謝

佐藤 遥斗くん 道央選手権大会男子800mで快挙！

10月神奈川県で開催の全国大会へ

厚真中学校3年の佐藤遥斗くんが、8月上旬に千歳市青葉競技場で開催された道央選手権大会の男子800mで、標準記録(2分0秒19)をクリアする自己ベスト1分59秒46を更新し、10月16日から神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催される、全国中学生陸上競技大会2020への出場を決めました。

佐藤君は10月12日に町長、教育長を訪問し「全国大会は初出場なので、予選からガンガン行って、まずは決勝に残りたい」と意気込みを語りました。



全国大会への意気込みを語る佐藤君（中央）

10月・11月の行事

厚真町の豊かな自然を生かして…

「森のひろば2020」

日時 10月25日(日) 午前10時～午後2時

※入退場は自由です

内容 厚真町ならではの豊かな自然環境を生かした外遊びの機会を提供します。

(馬そり、ロープ遊び、木工クラフト等)

場所 フォーラムビレッジ環境保全林

対象 町内在住の親子

申し込み 不要

主催 厚真町教育委員会

その他 駐車場は、フォーラムビレッジ入口付近をご利用ください。会場までは送迎バスを運行します。

※詳細は厚真町のホームページをご覧ください。

日ごろの活動の成果を…

「文化の秋 作品展示会」

日時 11月16日(月)～23日(月・祝)

内容 こども園や学校、町内文化団体等の活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興を図ります。

場所 厚真町総合福祉センター、厚南会館
※どちらもロビーを予定しています。

対象 こども園、学校、文化協会加盟団体、一般で作品展示を希望する方

主催 厚真町教育委員会

申し込み 一般の方は下記まで電話でお申し込みください。(※切11月6日)

その他 展示に関するパネルや物品等は、教育委員会で用意をしますので、気軽にご相談ください。

冒険の杜整備事業「選択」と「挑戦」



秘密基地づくり (厚真放課後児童クラブ)



馬とのかかわり (厚真放課後児童クラブ)



地域の方と下駄づくり (上厚真放課後児童クラブ)

8月の生涯学習だよりでも紹介した「冒険の杜整備事業」の取組がどんどん加速しています。放課後児童クラブの支援員は、「子どもが自ら育つ環境づくりのためにできることは何か？」について、子どもたちと一緒に、日々、試行錯誤しながら放課後を過ごしています。

子どもたちと過ごしていると、大人が「やらせてあげたい」と思っても難しいことや、子どもが「やりたい」と思ってもできないことがたくさんあります。今後は、その葛藤が少しでも少なくなるような環境整備を進め、子どもたち自身が何をして過ごしたいか選択し、「やりたい」と思うことに、思う存分、チャレンジできる環境を目指して、取組を進めていきます。

【問い合わせ】社会教育グループ ☎27-2495

絵本の読み聞かせ講座開催

9月15日(火)、厚真町放課後児童クラブ支援員や読み聞かせ団体、一般の方々を対象に、上厚真放課後児童クラブで第2回絵本の読み聞かせ講座を開催しました。絵本専門士の笹山愉香さんを講師に、絵本の読み聞かせの声の適切な音量などのテクニックを学びました。高齢者や親子連れなど幅広い層の参加があり、一般参加者からは「これをきっかけに読み聞かせといえば、厚真町とイメージしてもらえるような町になればいい」などの感想が聞かれ、絵本が与えてくれる効果を実感できる講座となりました。



※カプラとはフランス生まれの造形ブロックで、木材が一枚一枚精密に加工されており、うまく積めば、高さ18メートルまで積み上げることができます。

カプラ講座開催

令和元年から厚真町放課後児童クラブ支援員を対象に、白老町NPO法人お助けネットのスタッフの方々を招いて、※カプラの遊び方について学んでいます。

9月24日(木)には「ジェンガの塔」を作り、何本抜けるかを挑戦したり、線路をつくってつなげたりした遊びを学び、参加した支援員からは、「大人でもワクワクしてしまう」という感想が聞かれました。

子どもが自由な発想で遊ぶ楽しさはもちろん、白木の優しい手触りや、積み上げたものを崩すときのガラガラと澄んだ音も楽しんでいけるよう、放課後児童クラブの支援の場で活用していきます。



9月定例教育委員会

9月29日(火)に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
英語教育推進委員会第2回連携部会について／議会町内行政視察について／9月校長会議、教頭会議について／厚真町文化祭の中止について／第20回健康ふれあいマラソン大会について／親子 de くつろぎ森ガールについて(6件)
- ◆同意事項
厚真町教育委員会表彰について
- ◆その他
令和2年度教育委員学校訪問について／令和2年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について／令和2年度教育委員会表彰式について(他4件)

★問い合わせ
学校教育グループ ☎27-2494

日西さんが教育委員に就任

9月30日で教育委員の任期が満了となった佐藤泰夫さんの後任として、10月1日に日西大介さん(表町・39歳)が新教育委員に就任し、宮坂町長から任命書が交付されました。日西さんは、大学院修了後、民間企業を経て平成21年から町内で農業に従事しています。現在2児の父である日西さんは、「現役世代の代表として、子どもたちの明るい未来を考えていきたい。微力ですが一生懸命頑張ります」と教育委員としての抱負を語っていました。



日西 大介さん

これから、
よろしく願います!



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

図書フェスティバルを開催します



いつもの年のように図書室に集合ができない今年、密集を避ける、部屋の換気などいくつかの条件をどう解決していくか考えた結果、2020年の図書フェスティバルは、図書室でなぞなぞやクイズに挑む「謎解きフェスティバル」になりました。参加にあたって注意事項がありますので、学校や図書室で配布しているチラシや下記の参加要項をご確認ください。文化の日、青少年センター図書室でお待ちしています。

開催日：11月3日（火）文化の日 ※図書室は休館です

場 所：青少年センター図書室 1階

時 間：12：30-18：30 年齢によって参加出来る時間が変わります。

今年のこども縁日はありません。来館時にはマスクを着用してください。

第1部 未就学児・小学生の部

開催時間：12：30-15：30

<内容>

図書室に隠したなぞなぞ・クイズを探して全問正解を目指します。参加賞のほか、全問正解できた人は自分だけのキーホルダーを作れます。

<ご案内>

保護者の方も一緒に参加できます。未就学児の方には昔話クイズを用意しましたので、一緒に絵本を読みながら問題に挑戦してみてください。

第2部 中高生～大人の部

開催時間：16：30-18：30

<内容>

謎を解いてヒントを集めて、夜の図書室からの脱出を目指します。参加賞のほか、全問正解できた方には、先着で特別賞があります。

<注意>

演出上、暗い図書室内を探索しますので、懐中電灯をご持参ください。夜間の開催ですので、小学生の参加はできません。

■11月の休館日

3日（火）文化の日

23日（月）勤労感謝の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）

午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

11月のおはなしのびっこは 19日（木）10時30分開始

場所は青少年センター図書室絵本コーナーです。

☆放課後子ども教室☆

木々の葉が色づき、日もだんだんと短くなってきました。子どもたちと外に出れば、栗やドングリ拾いが始まります。通り雨のあとに虹がかかった空を、しばし子どもたちと一緒に見上げる帰り道。秋ですね。

9月後半のプログラムでは、クイズを解いて宝物を探す謎解きゲームや、西荻馬搬の西荻さんの協力による馬そり体験、アスファルトの広場にチョークで自由に絵を描いたり、虫やカエルなどの生き物を探しをしたりして楽しみました。10月前半のプログラムでは、高学年を対象としたバドミントン大会が大人気。対戦結果に一喜一憂しながら、楽しんでいる様子でした。そのほか、重曹と酢を使って炭酸を発生させ、風船を膨らませるミニ実験を行いました。風船が膨らみ始めると、子どもたちからは「おーっ！本当に膨らんだ！！」と歓声があがりました。風船が膨らむ仕組みより、手にした風船で遊ぶことに夢中になる子がいたり、酢と重曹の分量を変えたら、もっと風船が大きく膨らむのではないか、と予定していたプログラムが終わった後も、熱心に実験を続ける子がいたり、ミニ実験は子どもたちの興味を持ち方が見えて、とても面白い活動です。

10月に入り、子ども教室では2つの特別教室も実施しました。1つ目は、10月4日（日）に行った稲刈りです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら、みんなで田植えをしたいという願いはかないませんでした。稲刈りは無事、実施することができました。毎年、参加してくれている子も、初めての子も、稲刈りがまを手に一生懸命作業を進め、1時間程度で刈り取ることができました。参加してくれた子どもたちには、美味しい新米を届けたいと思います。2つ目のプログラムは、10月10日（土）に、たき火遊びの活動を行いました。講師を迎え、たき火をするために必要な準備から、火を扱うための心構えを伝授するという内容です。手斧やノコギリ、マッチなどに初めて触れる子も多く、最初は見ていて冷や冷やする場面もありましたが、少しずつ上手に使えるようになっていきました。刃物やたき火を使った活動は、ケガのリスクも大きいものです。しかし、危ないからといって遠ざけてしまうのではなく、使い方・扱い方を学べる場を作っていくことが必要なのだと思います。こうしたプログラムは、今後も続けていきたいと考えています。

